

伊江小発祥の地 もう



はーみ毛

チャレンジ、学び、笑顔いっぱいの学校をめざして

学校・地域・保護者みんなの子ども像

- 伊江っ子よ 強く 正しく 朗らかに! (伊江小校歌より)

キャリア教育目標

- チャレンジしてやり抜く子
- 学び合い、自分で考え表現する子
- 笑顔いっぱい、チームワークを発揮する子

★カレーパーティー★



恒例のカレーパーティーを2月16日に行いました。育てたジャガイモ、ニンジン、玉ねぎを使って、皮むき、調理までを学年で分担しました。JA伊江村から今年もお肉を提供していただきました。さらに、今年は5年と芸能交流をしている宮城県山元町の中浜神楽保存会の会長の高山さんの田んぼでとれた新米を提供していただいたのでササニシキで高級ビーフカレーを堪能しました。お世話になった地域の方をお招きすることができませんでしたが、土に触れ、自分たちで育てた野菜を調理することや芸能保存会の皆様と繋がれたことも貴重な経験となったことと思います。次年度以降もカレーパーティーを継続していきたいと思ひます。

3月の行事

- 2日(木) 授業参観 6年生を送る会 学級懇談会
- 3日(金) 3年 親子レク
- 6日(月) 職員会議 児童支援委員会
- 7日(火) 学校関係者評価委員会 PTA 作業 17:00
多読者表彰 SC 来校
- 15日(水) 卒園式 修了式
- 16日(木) 卒業式
- 17日(金) 修了式・離任式 PTA 送別会
- 24日(金) 離任者見送り 13時

4月の行事予定

7日(金) 新任式・始業式 10日(月) 入学式 11日(火) 入園式となっております。学校行事は学校ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

プログラミング教育

久留米大学の木下教授をお招きして全学年でプログラミング教育を行いました。学年の発達段階に合わせた系統的なプログラムを楽しく学びました。



「弁当の日おいしい記憶のエピソード」

共同通信社では、全日本中学校技術・家庭科研究会と共催で小中学生を対象に、「弁当の日おいしい記憶のエピソード」として、自分で料理をした体験を作文にまとめ、写真や絵と合わせて募集しました。今年度は全国から小中学校合わせて2704点の作品が寄せられ、このたび審査の結果、最優秀賞にあたる文部科学大臣賞1名、優秀賞にあたるキックマン賞2名、日清オイリオ賞1名、共同通信社賞1名、全国小学校家庭科教育研究会賞、全日本中学校技術・家庭科研究会賞1名に加え、特別賞1名と学校賞2校を決定しました。

見事、平田知友楽さんが、全国小学校家庭科教育研究会賞を受賞しました。3月25日には東京での表彰式で知友楽さんが受賞作品の発表を行うそうです。裏面に作文を掲載しています。

6年生をおくる会

いよいよ卒業の日が近づいてきました。大好きな6年生の卒業を祝い心を込めた出し物で楽しい時間を過ごしました。久しぶりの全校での時間でしたね♡ みんなの笑顔がステキです!



卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方について

以下 文科省通知一部抜粋

…学校におけるマスク着用の考え方を見直しについては、令和5年4月1日から適用することとされていますので、令和5年3月31日までの年度内における卒業式以外の学校教育活動においては、従来どおり、文部科学省が作成する「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」や関連する事務連絡等を踏まえつつ、メリハリのあるマスクの着用をお願いします。卒業式においては、児童生徒及び教職員は、式典全体を通じてマスクを着用せず出席することを基本とする。来賓や保護者等はマスクを着用するとともに、座席間に触れ合わない程度の距離を確保した上で、参加人数の制限は不要。 以下省略

通知文の詳細は伊江小 HP にも掲載しております。

全国小学校家庭科教育研究会賞

弁当の日をきっかけに 平田知友楽

ぼくたち伊江小学校は、年に三回弁当の日があります。弁当の日それぞれにテーマがあり、そのテーマに合わせて作ります。

ぼくは、この弁当作りをきっかけに、母に対する気持ちが深まりました。

弁当の日当日、母は朝五時半に起き、前日の夜準備しておいた材料を出します。栄養バランスと色どりを考えて料理をしているのだと話していました。

メニューは、チキンの照り焼き、ゴーヤチャンプルー、ニンジンしりしり、卵焼き、紅いものいもくず天ぷら、ちくわチーズ、枝豆にトマトです。中でも卵焼きは、想像していた以上に難しかったです。

まず、熱したフライパンに油をひいて、卵液を入れます。それから、焼き過ぎないように巻いていく作業を、母が手伝ってくれました。一緒にフライパンを持ち、巻くタイミングを教えてくださいました。

いつも口うるさい母ですが、母の優しさを感じました。

できあがった弁当は、緑、黄、赤、紫と色とりどりの弁当で、見てもおいしい弁当に仕上がりました。色どりを考えているという母の言葉そのままです。

一緒に作ったということもあり、食べてみると味も格別でした。

母は日頃から、仕事をしながらぼくたち家族のために、そうじや洗たく、ご飯を作ったり、その後片付けもしています。平日は、座るひまもないほどです。そんな母を見ているのに、母の言葉に反こうしてしている自分が、情けなくなりました。

弁当の日をきっかけに、料理をする大変さを実感することで、母のぼくたちに対する愛情の深さを、改めて知ることができました。

これからは、自分ができることを手伝い、母が少しでも休められるよう心がけます。

ちゅらさんの一言コメント

東京での表彰式が楽しみです。大舞台での発表は緊張するけどがんばります。

作文が苦手だったけどチャレンジして良かったです。これからも文章力をつけていきたいです。また、弁当作りをきっかけに栄養についても意識を高めていきます。



伊江村学力向上推進委員会家庭教育部会が、高校進学など島を離れる子どもの「自主自立」を目指す取り組みの一つとして、『弁当の日』の取り組みがあります。年3回実施でお弁当の日は、今年で8年目を迎えています。子供たちの自立につながる取り組みでこのような賞を受賞したこともうれしいですね。



👉 1年生と2年生の国語の交流会です。あらすじや大好きなところとその理由を紹介していました。子供が主体で前のめりになる授業でした。自分の考えを発表している生き生きとした子供の姿、私たちの目指している授業でした。